

不況世代20、30代500人アンケート

生活水準は上げない

内定ハワイ旅行にタクシー券——。都市伝説だと思っていたあの時代が再びやってくる、のだろうか。生まれて初めてのバブルの予感に、不況ネイティブの心は揺れている。

編集部 大貫聡子、福井洋平

不況ネイティブ世代の「アベノミクス」観

ポジティブ派 20代

雇用が増大して、失業率が下がると思う
(26歳男・無職/学生)

資産効果で消費が増える
(25歳男・正社員)

解雇が容易になることはメリット
(28歳男・正社員)

投資欲が上がる
(37歳男・正社員)

ずっと売れなかった株や外貨預金を売却できる程度に好景気になってほしい
(39歳女・無職/学生)

社会全体に蔓延していた辛気くさい雰囲気が出れば、自分も収入にかかわらず出かける回数が増えると思う
(30歳女・正社員)

株やFXでの利益で生活用品等の値上がり分をカバーできるので問題ない
(31歳男・正社員)

世間で休日出かけたり外食に行く人が増えれば活気が生まれ、自分も収入にかかわらず出かける回数が増えると思う
(30歳女・正社員)

ネガティブ派

将来の生活に対する保障がなくなる気がする
(25歳男・無職/学生)

格差が出ると思う。子育て支援をもっとちゃんとしてほしい
(27歳女・無職/学生)

増税や円安による物価の上昇で自殺者が増える
(29歳女・無職/学生)

規制をすべて廃止して職業の完全自由化を図ってほしい
(22歳男・無職/学生)

努力するものが報われる
(38歳男・正社員)

ベアがない企業はアベノミクスを実感できない
(37歳男・正社員)

短期的な応急処置にすぎず反動がいつれくる
(39歳男・自営業/フリーランス)

雰囲気だけなので実際始まった何も変わらなかったということになる気がしない
(38歳男・正社員)

年金や介護について安心して政策が見えてこないから、すごく冷めた目で見てしまう。しかも「消費税還元セール」を禁止する法案を作るとか、この国は本当に資本主義なのか?
(38歳女・正社員)

就職しようにも正社員のイスはなく、働いても働いてもサービスクラス。社会に出てからずっと割を食ってきた感の強い不況ネイティブ世代。アベノミクスの恩恵を受けることはできるのだろうか。

大手電機メーカーに勤める岡本祐介さん(30)は、将来のために2年前に始めた月5万円の投資信託を、さらに数万円増やそうと考えているという。

「個別銘柄は危ないので、インデックス型(株価指標に連動する投資)での運用を考えています。これはアベノミクス効果です。これはアベノミクス効果です。」

不動産調査会社「東京カンテ

「イ」の中山登志朗上席主任研究員には最近、30代の女性からこんな相談が寄せられた。

「アベノミクスで物価が上がらないうちに、家を買ったほうがいいでしょうか」

嫌消費だけどさざわ

この女性の夫の年収は約500万円。東京近郊で100平方メートル4千万円の戸建て物件を見つけたという。計算上

お金持ちがさらにお金持ちになるだけで、自分の生活は変わりがない
(35歳男・正社員)

収入は上がらず物価が上がります貯蓄ができなくなる
(39歳女・自営業/フリーランス)

医療費負担が大きくなりそうで心配
(38歳女・正社員)

出費をますます抑えなくては将来暮らせなくなる
(35歳女・正社員)

はぎりぎりローンが組めなくもないが、よく見ると崖の下にあるなど条件は最悪。焦る女性をなだめ、契約を見送らせた。

「黒田東彦・日銀総裁が打ち出した金融緩和と政策による長期金利低減や物価上昇予測は、若い世代も含めて不動産購入意欲を間接的、心理的に後押ししている印象です」(中山さん)

不動産も車も買わない「嫌消費」世代とも称される不況ネイ

ティブ世代も、アベノミクスでざわつき始めている。アエラが20〜30代の男女500人に行ったアンケートを見ると、「少し」も含め23%がアベノミクスで景気がよくなったと実感し、33%が将来も「明るくなる」と回答した。「貯金額を増やした」「外食が増えた」などアベノミクス後、何かしら生活を変化させた人も約2割いる。「貯金以外の金融資産に興味がある」という人は、「非常に」「まあまあ」を合わせると50%強にものぼる。そのほか、「辛気くさい雰囲気が出た」「貯金額を増やした」とムードの好転を歓迎する声や、「解雇が容易になることはメリット」(28歳男性)など労働市場の流動化に期待を寄せる声が多かった。リクルートワークス研究所の調べでは、中小企業の求人倍率を大企業の求人倍率で割った数値が4年ぶりに増えた。「こんな機会だから大きい会社に」と考える学生が増えたというところのようだ。この流れが続けば、いよいよ嫌消費世代も消費に回る、と思ってしまうこともなる。

タイミングは逃せない

景気が良くなると婚活意欲も高まるらしい。結婚相談所「アルパ青山」代表の小山礼子さんは、「景気と恋愛意欲は比例し

世代

ます。ただ、男女ともに「も」といい人がいるかも」と高望みになるので成婚率は下がります」と話す。

だが、4月中旬に不動産投資会社「リヴァックス」が都内で開いたセミナーに参加した女性銀行員(28)はこう力を込める。

「自分は就職状況が少し改善した時に就職できたが、三つ下の弟は就職に苦労し、今も親と同居中。わずかな景気の揺れ動きで生活が大きく変わる様を実感しているからこそ、得するタイミングは逃したくないんです」

横浜市内の金属販売会社に勤める男性(24)も、「誰も卒業年を選べないのに、新卒時の就職活動一発勝負で人生を左右されてきたという不遇感がある」と話す。消費意欲の根底にあるのはあくまで、いつまた景気が悪くなるかわからない、という不

安と「タイミングは逃せない」という意識なのだ。

そもそもアベノミクスの恩恵は不況ネイティブまで及ぶのか。第一生命経済研究所首席エコノミストの永濱利廣さんはこう話す。

「デフレで強かったのはキャッシュを持つ高齢者や富裕層だったが、アベノミクスは若者も含め、社会全体を底上げする」



甲南大学准教授の阿部真大(37)さんは、「家族はいりかたが起らない」と語る

規労働者を増やし格差が拡大したが、「インフレ目標2%を達成できなくても、1〜4%程度の安定したインフレ率が実現すれば、働きたい人がすべて働ける完全雇用状態になる。当然、人手不足が起き、労働者全体の賃金アップが期待できます」という。京都大学客員准教授で投資家の瀧本哲史さんも同意見だ。

「ITバブルに不動産バブル、2000年以降に起きたプチ好景気の問題点は、富が再分配されなかったことでした。交換可能な人材は安く買い叩かれる、「労働力のコモディティ(商品化)」という大きな流れは変わらないうが、最低賃金は上がるでしょう」

労働者としては「弱者」

一方で、事業再生などを手がける経営共創基盤の塩野誠マネ

ージングディレクター(37)は、こう話す。

「電機業界ではリストラが進むなど実感する機会がない。あふれたお金の事業投資に向かい雇用を生み出すのはまだ先だし、本当にそうなるかも未知数」

若者の消費動向に詳しい博報堂若者生活研究室アナリストの原田曜平さんも、「雇用市場にもグローバル化の影響が起きている中で、経験値の低い若年層は世界的にも「弱者」になっている」と分析する。ユニクロが賃金体系を世界同一にすると発表するなど、少々景気が上向いても雇用がこの先安定する保証はどこにもないのだ。

「今の若い人たちは経済的にも親との結びつきが強い。若い人にお金が回らなくても、親の世代が潤えば問題はない、とも言



「給料に跳ね返る感じが、結婚相談所「アルパ青山」代表の小山礼子さん(37)は言う

える」(阿部真大・甲南大学准教授)という指摘もあるが、アンケートでも「安心できる政策が見えてこない」(38歳女性)「将来の生活に対する保障がなくなる気がする」(25歳男性)といった不安を訴える声が目立つことを見ても、彼らの世代が消費マインドをかきたてる方向に向いているとはいえない。実際、マーケティングライターの牛窪恵さんは、20〜30代の

「日経新聞」人気連載

敗戦からアベノミクスまで一気にわかる!

この日本で生きる君が

知っておくべき

「戦後史の学び方」

池上彰教授の東工大講義

この日本で生きる君が知っておくべき「戦後史の学び方」

池上彰教授の東工大講義

日本が甦るヒントは「戦後史」にあります!



この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう

文藝春秋

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23
Tel.03-3265-1211(代) http://www.bunshun.co.jp

新しい出生前診断(NIPT)の遺伝カウンセリング実施体制

施設名	検査開始日	遺伝カウンセリングの実施者とその人数
北海道大学病院	4月2日	臨床遺伝専門医(産科医)3人、臨床遺伝専門医(小児科医)2人、認定遺伝カウンセラー1人
岩手医科大学附属病院	4月2日	臨床遺伝専門医(産科医)2人、臨床遺伝専門医(小児科医)1人、認定遺伝カウンセラー0人
宮城県立こども病院		*回答しません
新潟大学医学部総合病院	4月2日	臨床遺伝専門医(産科医)2人、臨床遺伝専門医(小児科医)0人、認定遺伝カウンセラー2人
国立成育医療研究センター	4月9日	*回答しません
昭和大学病院	4月1日	臨床遺伝専門医(産科医)4人、臨床遺伝専門医(小児科医)2人、認定遺伝カウンセラー1人
東京女子医科大学病院		*回答しません
埼玉医科大学病院	5月頃予定	臨床遺伝専門医(産科医)4人、臨床遺伝専門医(小児科医)1人、認定遺伝カウンセラー0人
横浜市立大学附属病院		*回答しません
名古屋市立大学病院	4月1日	臨床遺伝専門医(産科医)3人、臨床遺伝専門医(小児科医)1人、認定遺伝カウンセラー1人**
藤田保健衛生大学病院	4月1日	臨床遺伝専門医(産科医)1人、臨床遺伝専門医(小児科医)2人、認定遺伝カウンセラー1人
大阪大学医学部附属病院	4月11日	臨床遺伝専門医(産科医)4人、臨床遺伝専門医(小児科医)2人、認定遺伝カウンセラー1人
大阪市立総合医療センター	4月8日	臨床遺伝専門医(産科医)2人、臨床遺伝専門医(小児科医)2人、認定遺伝カウンセラー1人
兵庫医科大学病院	5月頃予定	臨床遺伝専門医(産科医)2人、臨床遺伝専門医(小児科医)1人、認定遺伝カウンセラー2人
愛媛大学医学部附属病院	4月8日	臨床遺伝専門医(産科医)2人、臨床遺伝専門医(小児科医)1人、認定遺伝カウンセラー0人***
徳島大学病院	4月4日	臨床遺伝専門医(産科医)3人、臨床遺伝専門医(小児科医)1人、認定遺伝カウンセラー0人
国立病院機構九州医療センター	4月1日	臨床遺伝専門医(産科医)2人、臨床遺伝専門医(小児科医)0人、認定遺伝カウンセラー0人
長崎大学病院		*回答しません

*認可申請・登録の人数 **その他NICUの担当医 ***その他NICUの担当医

い臓疾患のほか、複数の臓器異常が見つかり、医師からは、羊水検査で確定するまでもなく、重篤な染色体異常と考えられること、生まれてきたとしてもほぼ生きることがかなわないと予測されることを告げられた。流

産の確率も高く、妊娠後期にお腹の中で亡くなる可能性もあるとのことだった。上の子の出産時に帝王切開手術を受けたこともあり、妊娠週数が進んで死産となった場合に、母体に負担がかかることも考えた。

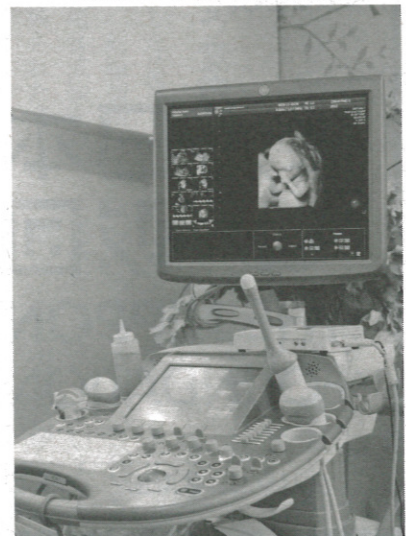
決められないのも選択

分婉を誘発する細い棒を子宮の入り口に、1本ずつ2日かけて10本入れられた。じんじんする痛みには耐えながら、赤ちゃんが下りてくるのを待った。分婉室で迎えるのが、産声を上げる健康な赤ちゃんではないことが、とてもなく悲しかった。

せめてお腹の中で命を終えるその時まで待つてあげられなかったのかという自問。せつなく授かった赤ちゃんなのに、産んであげられなかったという悔い。お別れ後ずつと、自分を責めた。「私の場合、流産や死産の方に近い苦しみでした。自責感、ダウン症などわかって産まない選択をした人よりは、いくらか軽減されたかもしれません。」

悩んだ末に、妊娠18週で中絶手術を受けた。

クリフム夫律子マタニティクリニックは出生前診断を専門に行う。1日に70組の夫婦が検査に訪れ、35歳以上の妊婦が7割を占める。「診断がゴールではない。大切なのは、異常が見つかった場合、正確な情報の提供をはじめ、胎児と両親のサポートを行うこと」(夫院長)



NIPT実施医師からの声

NIPTに対する大きな誤解は、希望すれば、お金を出せば、だれでも検査を受けられるというもの。申し込みの電話がかなりきていますが、そうした事態はあまりよくない傾向と考えます (宮城県立こども病院産科部長・東北大学・室月淳教授)

NIPTを特殊な検査と持ち上げる風潮に惑わされることなく、従来の羊水検査や母体血清マーカーテスト、NT(超音波検査で見る、胎児の浮腫の厚さ)に関するカウンセリングと同様のスタンスで淡々と取り組んでいきたい (埼玉医科大学病院・難波聡医師)

NIPT希望者の増加で、羊水検査など従来の検査のカウンセリング外来の予約がとりにくくなっている。冷静に検討してほしい (国立病院機構九州医療センター・小川昌宣医師)

NIPTは、多くの人には必要のない検査。高齢出産など対象となる人であっても、必ずしも受けなければならない検査でもない。冷静に考えていただきたい (長崎大学・増崎英明教授)

今やダウン症は大きな合併症がなければ、老齢期まで生きられるとも聞きます。もし、お別れした子が、障がいはあるにしても元気に生きられるような子だったら中絶に踏み切れたか。産みますと迷いなく選択できたか。限りなく悩んだと思います」(大阪市の夫律子院長(52)は、こう話す。

「どんな妊婦さんでも、お腹に宿した命が複雑な状況を抱えていると知った時、産む・産まないの2択ではとても割り切れない複雑な感情が入りまじるもの。周囲の声もある。産んだ人も、産めなかった人も、理屈や感情と、とことん向き合って、紙一重のところできりぎりの選択をしているんです」

なかにはダウン症だとわかったものの、夫婦のどちらも、「こうしよう」とは言い出せないまま決めきれずに、法律上定められた中絶が可能な期限を過ぎていった、という夫婦もいた。「決められないというのも、その人たちの立派な選択」

と夫院長は言う。その夫婦の妻が、出産前ふもらした言葉が印象的だった。「期限が過ぎて、ある意味ほつとしたところもあります。ああ、これでもう、悩まなくてすむようになっただけ」